

むらからくにへ

1 本時のねらい

- 板付遺跡の写真を見て、さまざまな事象を発見する。
- 稲作が始まったころの日本の様子をとらえる。

2 本時の展開

学習活動と内容	主な発問と指導上の留意点
1 本時のめあてと学習の流れ、語句を確認する。	めあて：米作りが始まったころのくらしについて考えてみよう。 おさえる語句：弥生時代・遺跡・堀・豪族・出土品・従える
2 板付遺跡の写真を見て話し合う。	指：板付遺跡の写真からわかることと考えられることをワークシートに書きなさい。 問：それでは、わかることから発表してください。 ※村の周囲に堀がある 中には建物が点在している 土器が出土している 等 問：次に考えられることを発表してください。 ※戦いや争いがあった？ 助け合いながら生活？ 豊かなくらし？ 等
3 弥生時代のくらしについてグループで話し合う。	指：初めにグループに分かれて活動します。ワークシートの5つの問題の答えを探しましょう。
(1) ワークシートの設問の答えを考える。	Q1：人々が寝起きする家はどれ？ Q2：足の長い建物があります。それは何？ Q3：男女は同じ仕事をしている？ Q4：仕事をしないで立っている人は何者？ Q5：米づくりがはじまると社会に変化が起こった。それはどんな？
(2)ムービー①を見る	指：次に吉野ケ里遺跡を紹介するビデオを見ます。(デジタル教科書「吉野ケ里遺跡」) 説：弥生時代のくらしがイメージできたと思います。米作りがはじまり、人々は力を合わせてくらしていたようですね。それでは、次々に学習を進めていきましょう。
(3)話し合ったことを発表する。	指：それでは、話し合ったことを発表します。 ※発表させながら以下のような解説を加えていく。 説1：家に塗る適切な色は茶色です。当時の家はわらでできていました。 説2：高床式倉庫と呼ばれています。とれた米を保管する倉庫です。湿気やねずみなどの影響を受けにくくするように床を高くつくっています。 説3：別の仕事をしています。男は田の維持管理等の力仕事をしていたと考えられています。すでに分業が始まっていたのですね。 説4：「長老」と呼ばれています。村の指導者です。このように身分の違いも出始めました。 説5：「身分のちがい」や「豊かな人と貧しい人のちがい」が生まれました。
4 学習のまとめをする。	指：この動画を見なさい。(デジタル教科書「矢じりがささった人骨」)
(1)ムービー②を見る	問：このことから弥生時代にどんなことが起きていたと考えられますか。
(2)弥生時代にどんな事が起きたかを考える。	※むらが堀で囲まれていたことと重ねて考えさせる。 指：最後にもう1本動画を見ます。(デジタル教科書「卑弥呼」)
(3)ムービー③を見る	説：米づくりが始まると、身分や貧富の差が表れはじめました。また、米づくりに適した土地や水などをめぐってむら同士が争うことも少なくなかったようです。このようにして、強いむらが弱いむらをのみこみながら大きくなり、しだい「くに」とよばれる大きなまとまりができあがってきたと考えられています。
(4)「今日の学習で」を書く	指：最後にわかったことを中心に「今日の学習で」を書きましょう。 ※時間があれば発表させる。